



## 2023年10月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年9月13日

上場会社名 株式会社ナレルグループ 上場取引所 東  
 コード番号 9163 URL <https://nareru-group.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 小林 良  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役コーポレート本部長（氏名） 野尻 悠太（TEL）03(6268)9036  
 四半期報告書提出予定日 2023年9月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年10月期第3四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年7月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	13,064	23.6	1,826	17.6	1,787	23.3	1,231	27.6	1,231	27.6	1,231	27.6
2022年10月期第3四半期	10,572	—	1,553	—	1,449	—	964	—	964	—	964	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2023年10月期第3四半期	149.07		145.78									
2022年10月期第3四半期	116.92		—									

（注）1. 当社は、2023年7月21日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年10月期第3四半期連結累計期間の希薄化後1株当たり四半期利益は、新規上場日から2023年10月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（注）2. 2022年10月期第3四半期連結累計期間の希薄化後1株当たり四半期利益については、当社株式は非上場であり、ストック・オプションは存在するものの、権利確定条件に上場条件が含まれているため、記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2023年10月期第3四半期	21,388		11,619		11,619		54.3	
2022年10月期	20,155		9,933		9,933		49.3	

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	17,482	20.2	2,162	6.0	2,111	14.0	1,485	19.5	179.05	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年10月期3Q	8,402,630株	2022年10月期	8,252,630株
2023年10月期3Q	一株	2022年10月期	一株
2023年10月期3Q	8,259,223株	2022年10月期3Q	8,252,630株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり利益)	15
(重要な後発事象)	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染対策は緩和の方向に進み、国内の社会経済活動は正常化しつつあります。また、賃上げの動きも見られるなど、国内景気は徐々に回復しております。一方で、原料やエネルギー価格の世界的な高騰をはじめとしたインフレリスクに加え、深刻化するウクライナ情勢により世界経済への下押しリスクが懸念され、先行きの不透明な状況は継続しております。

当社グループの主要な取引先である建設業界においても建築資材の急騰などの懸念はあるものの、公共投資が底堅く推移する中、民間建設投資の持ち直しが続いており、国内建設需要は堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループは事業成長のための人材採用強化を推進し、在籍人数が増加しました。また、顧客からのニーズに応じて人材を送り出した結果、稼働人数も増加しました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上収益は13,064,283千円（前第3四半期連結累計期間比23.6%増）となりました。また、営業利益は1,826,050円（同17.6%増）、税引前四半期利益は1,787,834千円（同23.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,231,211千円（同27.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (建設ソリューション事業)

建設業界は慢性的な人手不足が続いており、技術者人材を派遣する当社の役割は大きく、人材不足解消に貢献することを求められています。その期待に応えるべく、技術者人材の採用・教育の強化に取り組んだことにより、技術者の在籍人数・稼働人数が増加しました。

その結果、同事業の売上収益は11,650,653千円（前第3四半期連結累計期間比22.9%増）、セグメント利益は1,681,217千円（同23.5%増）となりました。

#### (ITソリューション事業)

IT業界においても、建設業界と同様に人手不足が続いており、将来において成長発展が期待される分野であります。この状況において、IT人材の育成は日本にとって大きな課題であると認識し、未経験者の採用・育成に注力しており、顧客の要員ニーズに応じてエンジニアの稼働人数は増加しております。

その結果、同事業の売上収益は1,417,129千円（前第3四半期連結累計期間比29.3%増）、セグメント利益は74,768千円（同9.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産合計は、6,093,286千円（前連結会計年度末比1,215,989千円増加）であります。これは主に、東京証券取引所グロス市場への上場に伴う公募による新株式発行により、現金及び現金同等物が965,781千円増加したことによるものであります。非流動資産合計は15,295,660千円（同17,039千円増加）であります。これは主に、保険積立金の解約を含むその他の金融資産が56,175千円減少した一方で、使用権資産が95,011千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、21,388,947千円（同1,233,028千円増加）となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債合計は、5,522,425千円（前連結会計年度末比10,660千円減少）であります。これは主に、その他の流動負債が136,948千円増加した一方で、未払法人所得税が235,986千円減少したことによるものであります。非流動負債合計は、4,247,171千円（同442,409千円減少）であります。これは主に借入金が535,713千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、9,769,596千円（同453,069千円減少）となりました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は、11,619,350千円（前連結会計年度末比1,686,098千円増加）であります。その主な内訳は、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ186,618千円増加したことに加え、親会社の所有者に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が1,231,211千円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）につきましては、3,249,572千円（前連結会計年度末比965,781千円増加）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、1,200,923千円（前第3四半期連結累計期間は1,045,076千円の収入）となりました。これは主に税引前四半期利益1,787,834千円が計上されたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は、86,502千円（前第3四半期連結累計期間は148,385千円の支出）となりました。これは主に保険積立金の解約による収入等を含むその他の金融資産の回収による収入145,068千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、321,643千円（前第3四半期連結累計期間は542,840千円の支出）となりました。これは主に、株式の発行による収入373,237千円があった一方で、長期借入金の返済による支出535,713千円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の連結業績予想につきましては、2023年7月21日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、当該業績予想数値は、本日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,283,790	3,249,572
営業債権	2,297,822	2,694,475
その他の金融資産	37,550	10,656
その他の流動資産	258,133	138,582
流動資産合計	4,877,297	6,093,286
非流動資産		
有形固定資産	165,131	161,521
使用権資産	309,978	404,990
のれん	14,074,688	14,074,688
無形資産	24,556	29,800
その他の金融資産	316,922	260,747
繰延税金資産	384,901	363,574
その他の非流動資産	2,442	338
非流動資産合計	15,278,621	15,295,660
資産合計	20,155,918	21,388,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	25,937	26,467
借入金	2,714,284	2,714,284
リース負債	153,081	208,409
未払法人所得税	431,817	195,830
その他の金融負債	119,841	152,360
その他の流動負債	2,088,123	2,225,072
流動負債合計	5,533,085	5,522,425
非流動負債		
借入金	4,285,716	3,750,003
リース負債	124,758	159,729
退職給付に係る負債	168,921	227,478
引当金	110,185	109,960
非流動負債合計	4,689,581	4,247,171
負債合計	10,222,666	9,769,596
資本		
資本金	50,000	236,618
資本剰余金	8,202,630	8,389,469
利益剰余金	1,556,950	2,788,161
その他の資本の構成要素	123,670	205,100
親会社の所有者に帰属する 持分合計	9,933,252	11,619,350
資本合計	9,933,252	11,619,350
負債及び資本合計	20,155,918	21,388,947

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上収益	10,572,211	13,064,283
売上原価	△7,473,670	△9,307,621
売上総利益	3,098,540	3,756,661
販売費及び一般管理費	△1,584,982	△1,980,244
その他の収益	47,731	64,413
その他の費用	△8,217	△14,779
営業利益	1,553,072	1,826,050
金融収益	32	43
金融費用	△103,664	△38,259
税引前四半期利益	1,449,440	1,787,834
法人所得税費用	△484,516	△556,623
四半期利益	964,923	1,231,211
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	964,923	1,231,211
四半期利益	964,923	1,231,211
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	116.92	149.07
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	-	145.78



## 第3四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)
売上収益	3,760,124	4,765,029
売上原価	△2,684,437	△3,283,253
売上総利益	1,075,686	1,481,775
販売費及び一般管理費	△595,499	△702,759
その他の収益	19,308	2,460
その他の費用	△8,129	△5,944
営業利益	491,365	775,530
金融収益	12	12
金融費用	△34,060	△12,524
税引前四半期利益	457,317	763,018
法人所得税費用	△159,067	△254,198
四半期利益	298,250	508,820
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	298,250	508,820
四半期利益	298,250	508,820
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	36.14	61.51
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	-	60.17

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期利益	964,923	1,231,211
四半期包括利益	964,923	1,231,211
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	964,923	1,231,211
四半期包括利益	964,923	1,231,211

第3四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)
四半期利益	298,250	508,820
四半期包括利益	298,250	508,820
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	298,250	508,820
四半期包括利益	298,250	508,820

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	その他の資本の構成要素					合計	合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	新株予約権	確定 給付 制度の 再測定			
2021年11月1日 残高	50,000	8,202,630	331,352	49,869	-	49,869	8,633,853	8,633,853
四半期利益	-	-	964,923	-	-	-	964,923	964,923
その他の 包括利益	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期包括利益	-	-	964,923	-	-	-	964,923	964,923
新株の発行	-	-	-	-	-	-	-	-
株式報酬	-	-	-	53,134	-	53,134	53,134	53,134
その他の増減	-	-	-	-	-	-	-	-
所有者との 取引額等合計	-	-	-	53,134	-	53,134	53,134	53,134
2022年7月31日 残高	50,000	8,202,630	1,296,275	103,004	-	103,004	9,651,910	9,651,910

当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	新株予約権	確定 給付 制度の 再測定			
2022年11月1日 残高	50,000	8,202,630	1,556,950	123,670	-	123,670	9,933,252	9,933,252
四半期利益	-	-	1,231,211	-	-	-	1,231,211	1,231,211
その他の 包括利益	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期包括利益	-	-	1,231,211	-	-	-	1,231,211	1,231,211
新株の発行	186,618	186,618	-	-	-	-	373,237	373,237
株式報酬	-	-	-	81,429	-	81,429	81,429	81,429
その他の増減	-	220	-	-	-	-	220	220
所有者との 取引額等合計	186,618	186,838	-	81,429	-	81,429	454,887	454,887
2023年7月31日 残高	236,618	8,389,469	2,788,161	205,100	-	205,100	11,619,350	11,619,350

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,449,440	1,787,834
減価償却費	168,269	176,197
株式報酬費用	53,134	81,429
金融収益及び金融費用	103,631	38,215
有形固定資産売却益	-	△181
有形固定資産除却損	5,175	4,766
営業債権の増減額(△は増加)	△331,579	△396,653
営業債務の増減額(△は減少)	8,359	529
未払費用の増減額(△は減少)	234,985	249,750
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46,416	58,557
その他	△68,950	6,038
小計	1,668,883	2,006,485
利息及び配当金の受取額	36	44
利息の支払額	△65,235	△36,792
法人所得税の支払額	△558,608	△768,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,045,076	1,200,923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,622	△34,405
有形固定資産の売却による収入	-	181
無形資産の取得による支出	△3,800	△8,804
貸付による支出	△6,674	△1,257
貸付金の回収による収入	4,378	2,303
その他の金融資産の取得による支出	△98,208	△15,284
その他の金融資産の回収による収入	542	145,068
その他	-	△1,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,385	86,502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△400,000	△535,713
リース負債の返済による支出	△132,840	△151,890
金融手数料の支払による支出	△9,999	△2,520
株式の発行による収入	-	373,237
その他	-	△4,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	△542,840	△321,643
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	353,850	965,781
現金及び現金同等物の期首残高	2,155,457	2,283,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,509,308	3,249,572

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、サービス別の事業会社が、取扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、上記を基礎としたサービス別セグメントから構成しており、サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、「建設ソリューション」及び「ITソリューション」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメント区分の主なサービス又は事業内容は、以下のとおりです。

報告セグメント	主なサービス又は事業内容
建設ソリューション	ゼネコン等の建設会社に施工管理技術者、CAD技術者等の人材派遣
ITソリューション	S I e r等の開発案件・インフラ管理業務に対して、人材派遣やS E S (システムエンジニアリングサービス) 契約によるサービス提供

(2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計方針は、要約四半期連結財務諸表作成の会計方針と概ね同一です。

当社グループの報告セグメントごとの情報は次のとおりです。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	要約四半期連 結財務諸表
	建設ソリュー ション	I Tソリュー ション	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	9,479,889	1,092,321	10,572,211	-	10,572,211
セグメント間の売上収益	-	3,350	3,350	△3,350	-
合計	9,479,889	1,095,672	10,575,561	△3,350	10,572,211
セグメント利益	1,361,482	82,433	1,443,915	109,156	1,553,072
金融収益					32
金融費用					△103,664
税引前四半期利益					1,449,440

(注) セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	要約四半期連 結財務諸表
	建設ソリュー ション	I Tソリュー ション	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	11,650,653	1,413,629	13,064,283	-	13,064,283
セグメント間の売上収益	-	3,500	3,500	△3,500	-
合計	11,650,653	1,417,129	13,067,783	△3,500	13,064,283
セグメント利益	1,681,217	74,768	1,755,986	70,063	1,826,050
金融収益					43
金融費用					△38,259
税引前四半期利益					1,787,834

(注) セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。



(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益及びその算定上の基礎は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	964,923	1,231,211
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益	-	-
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	964,923	1,231,211
発行済普通株式の期中平均株式数	8,252,630株	8,259,223株
基本的1株当たり四半期利益	116.92円	149.07円

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	298,250	508,820
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益	-	-
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	298,250	508,820
発行済普通株式の期中平均株式数	8,252,630株	8,272,195株
基本的1株当たり四半期利益	36.14円	61.51円

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益

希薄化後1株当たり四半期利益及びその算定上の基礎は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
希薄化後の普通株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	964,923	1,231,211
四半期利益調整額	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	964,923	1,231,211
発行済普通株式の期中平均株式数	8,252,630株	8,259,223株
希薄化性潜在的普通株式の影響：ストック・オプション	-	186,554株
希薄化効果の調整後	-	8,445,778株
希薄化後1株当たり四半期利益	-	145.78円

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)
希薄化後の普通株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	298,250	508,820
四半期利益調整額	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	298,250	508,820
発行済普通株式の期中平均株式数	8,252,630株	8,272,195株
希薄化性潜在的普通株式の影響：ストック・オプション	-	184,488株
希薄化効果の調整後	-	8,456,683株
希薄化後1株当たり四半期利益	-	60.17円

(注) 当社の株式は、前第3四半期連結累計期間においては非上場であり、ストック・オプションは存在するものの、権利確定条件に上場条件が含まれているため、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間の希薄化後1株当たり四半期利益については記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。